

「東日本大震災」災害見舞金の募集

2011年3月11日、東北・東日本にマグニチュード9.0という日本の観測史上最大の地震が発生しました。その後の大津波は、多数のかけがえのない命を奪い、現在も万余の行方不明者があります。さらには福島第1原子力発電所における爆発・トラブルは、被災地の人びとに止まらず周辺住民に多大な不安を惹き起こしています。

しかし、30数万に上る被災者・避難者は、厳しい生活の不安の中にあっても、日本人としての誇りを高く持ち、お互いに助け合い、励まし合い、一人ひとりが、いまいる場できることをやりながら避難所生活を送っています。

日々伝えられる被災地の現状は、一刻の猶予もありません。人びとは、命をつなぐ支援物資の届くのを待っています。

私たちに出来ることは限られています。食糧やガソリンなどの買いに走らず、いまこそ買い控えを。計画停電に協力する。これらは、被災地の人びとへの想像力を働かせれば何でもないことです。

丹沢ドン会は、1992年3月に設立以来、丹沢の自然の大いなる恵みを享受し、時には自然の厳しさ受け止め、エネルギーにしながら、伝統的な農村景観を再生・保全し、次の世代に伝えるための活動をつづけてきました。その活動を通して、一人ひとりの暮らし方や生き方を考え、日々、安全で潤いのあるスローな生活を目指してきました。

いま、被災地のみなさんは、自然の猛威と、科学技術の粋を集めた果ての原発事故の前で不安を抱えています。そこで、「もう少しがんばって!」という想いを込めて、被災地のみなさんへ、限られたドン会の資金の中から10万円の義援金を届けたいと思います。

それに加えて、ドン会会員、丹沢自然塾の塾生のみなさん、ドン会のホームページをご覧いただいているみなさんにあたたかい「東日本大震災」の災害見舞金の拠出をお願いいたします。あくまで、それぞれの想いを込めてご判断いただくことです。どうぞよろしく願いいたします。

2011年3月18日

NPO法人自然塾丹沢ドン会 理事長 小川 次雄

(連絡先：携帯 090-7212-0573 片桐)

災害見舞金のやり方はいくつかあります。以下に記します。

①ドン会会員、丹沢自然塾の塾生のみなさん：

- ・3月19日、26日に名古屋の棚田で田んぼの作業を行う際に、ドン会事務局へお届けください。ドン会でまとめて災害見舞金として被災地へお送りします（その後も継続して募金活動は行います）。
- ・2011年のドン会会費、自然塾入会金の振込みが済んでいない人は、お送りしている振込用紙に、プラス〇〇〇〇円と余白に書いて、合計金額をお振込みください。プラス〇〇〇〇円の募金金額の部分を抜き出し、ドン会でまとめて災害見舞金として被災地へお送りします。
- ・独自にご判断いただき、さまざまな窓口から災害見舞金を被災地にお送りください。

②ドン会のホームページをご覧のみなさん：

- ・独自にご判断いただき、さまざまな窓口から災害見舞金を被災地にお送りください。
- ・ドン会へ災害見舞金をお送りいただき、ドン会分10万円プラスとあわせて災害見舞金としてお送りします。

ドン会の郵便局の振込口座は以下のとおりです。振り込み手数料がかかります。

名義：NPO法人自然塾丹沢ドン会 口座番号：00210-2-42544

③災害見舞金の受付窓口のいくつか

- ・朝日新聞文化事業団：郵便振替 00910-9-14990 「東日本大震災救援募金」
- ・日本赤十字社：ゆうちょ銀行 00140-8-507 「日本赤十字社 東北関東大震災義援金」
- ・テレビ朝日「ドラえもん募金」：三井住友銀行営業部（普）8333415 「ドラえもん募金」

以上、何とぞよろしく願いいたします。